

## 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和3年11月12日（金）

9：01～9：13

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：岸田文雄 内閣総理大臣  
金子恭之 国務大臣（総務大臣）  
古川禎久 国務大臣（法務大臣）  
林芳正 国務大臣（外務大臣）  
鈴木俊一 国務大臣（財務大臣，内閣府特命担当大臣）  
末松信介 国務大臣（文部科学大臣）  
後藤茂之 国務大臣（厚生労働大臣）  
金子原二郎 国務大臣（農林水産大臣）  
萩生田光一 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）  
斉藤鉄夫 国務大臣（国土交通大臣）  
岸信夫 国務大臣（防衛大臣）  
松野博一 国務大臣（内閣官房長官）  
牧島かれん 国務大臣（デジタル大臣，内閣府特命担当大臣）  
西銘恒三郎 国務大臣（復興大臣，内閣府特命担当大臣）  
二之湯智 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）  
野田聖子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
山際大志郎 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
小林鷹之 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
堀内詔子 国務大臣（東京オリンピック・パラリンピック担当大臣）  
若宮健嗣 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
欠席者：山口壯 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）  
陪席者：木原誠二 内閣官房副長官  
磯崎仁彦 内閣官房副長官  
栗生俊一 内閣官房副長官  
近藤正春 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 2件  
○政令 1件  
○人事 3件

いずれも，案件表のとおり，決定となった。

議事内容：

○松野国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、磯崎副長官から御説明申し上げます。

○磯崎内閣官房副長官：一般案件について、申し上げます。まず、「日米地位協定」第2条に基づく、米軍使用施設・区域の追加提供等について、御決定をお願いいたします。今回の案件は、陸上自衛隊が日米共同方面隊指揮所演習を実施するため、兵庫県伊丹市等の「伊丹駐屯地」の一部土地等を追加提供するもの等、計5件であります。

次に、信・解任状に認証を仰ぐことについて、御決定をお願いいたします。本件は、「アラブ首長国連邦」、「ガーナ国」及び「マレーシア国」駐箚特命全権大使の異動に伴い、交付すべき信任状及び解任状であります。

次に、政令について、御決定をお願いいたします。「海上運送法施行令及び造船法施行令の一部を改正する政令」は、海上運送法等の一部改正法の一部施行に伴い、所要の規定を整理するものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、ドミニカ共和国兼ハイチ国駐箚大使牧内博幸を願いに依り免ずること、及び、ガーナ国兼リベリア国駐箚大使望月寿信に兼ねてシエラレオネ国駐箚を命ずることを承認することについて、それぞれ御決定をお願いいたします。

次に、木村榮作外258名の叙位又は叙勲等について、御決定をお願いいたします。なお、元衆議院議員森山眞弓、元衆議院議員鹿野道彦をそれぞれ正三位に叙するものがあります。

○松野国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、野田大臣。

○野田国務大臣：子育てを支える家族と地域の大切さについて理解を深めていただくため、来る11月21日を「家族の日」と定め、その前後1週間である明後日11月14日から27日まで、「家族の週間」を実施します。今年は、オンラインによるフォーラムの開催のほか、家族の絆や地域の絆をテーマとした作品コンクールや、関係府省、地方公共団体、関係団体、民間企業などと連携した情報発信を予定しています。子供や家族が大事にされる社会の実現に向けて、社会全体で行動を起こしていくことが重要です。閣僚各位におかれましては、この「家族の日・家族の週間」の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

○松野国務大臣：次に、総務大臣から2件御発言がございます。

○金子（恭）国務大臣：まず、岸田総理とも御相談の上で中西祐介総務副大臣及び渡辺孝一総務大臣政務官に、国会対応も含め、郵政民営化を担当する大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

次に、政府主催の全国都道府県知事会議を、別紙のとおり、11月26日金曜日午後4時から総理大臣官邸で開催することとしたいので、御了解くださるようお願いいたします。なお、当日の会議では、内閣総理大臣と知事との懇談、各閣僚と知事との懇談を行うこととしております。

○松野国務大臣：次に、文部科学大臣から2件御発言がございます。

○末松国務大臣：まず、岸田総理とも御相談の上、池田佳隆文部科学副大臣及び鰐淵洋子文部科学大臣政務官に教育再生を担当する大臣としての私の補佐を、国会対応も含め、行うよう指示いたしましたので、御報告いたします。

次に、11月9日、イプシロンロケット5号機による、革新的衛星技術実証2号機の打上げに成功しました。今回の打上げにより、我が国の基幹ロケットは連続52機の打上げ成功となりました。今回打ち上げられた革新的衛星技術実証2号機は、宇宙技術の開拓や宇宙産業の発展に貢献する革新的な技術やアイデアの詰まった実証機であり、この実証機会を通じて、我が国の宇宙産業の発展やイノベーションの創出に繋がることを期待しております。現在、打ち上げられた衛星は順調に飛行を続けており、今後、宇宙空間での様々な技術実証を行うという所期の目的を達成できるよう、引き続き、関係機関とともに着実な運用に力を尽くしてまいります。

○松野国務大臣：次に、経済産業大臣。

○萩生田国務大臣：岸田総理とも御相談の上、細田健一経済産業副大臣及び吉川ゆうみ経済産業大臣政務官に、国会対応も含め、産業競争力を担当する大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○松野国務大臣：次に、国土交通大臣。

○斉藤国務大臣：岸田総理とも御相談の上、中山国土交通副大臣及び加藤国土交通大臣政務官に、国会対応も含め、水循環政策を担当する大臣としての私の補佐をするよう指示いたしましたので、御報告いたします。

○松野国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

まず、内閣総理大臣から御発言がございます。

○岸田内閣総理大臣：去る5日、会計検査院長から、令和2年度決算検査報告を受け取りました。この検査報告における件数は210件、指摘金額は総額2,108億円となっており、多くの不当事項等の指摘がなされていることは誠に遺憾であります。政府としては、この検査報告を真摯に受け止め、行政に対する国民の信頼を取り戻すための取組を進める必要があります。閣僚各位におかれては、自ら率先し、事務事業の在り方を見直し、また、適正な会計処理を徹底するなど、検査報告事項の確実な改善に努めていただくようお願いいたします。また、予算の効率的かつ適切な執行を行うことが重要であることから、検査報告事項や国会での審議内容を令和4年度予算等に的確に反映していただくようお願いいたします。

○松野国務大臣：次に、財務大臣。

○鈴木国務大臣：ただいま総理から御発言がありましたとおり、今般の決算検査報告では、数多くの指摘がなされております。閣僚各位におかれましては、改めて、予算の厳正かつ効率的な執行と経理の適正な処理に努めていただきたいと存じます。財政当局としては、今回の決算検査報告や国会における決算審議の内容、予算執行調査の結果などを、令和4年度予算編成等に的確に反映する必要があると考えております。閣僚各位の特段の御協力をお願いいたします。

○松野国務大臣：次に、野田大臣。

- 野田国務大臣：本日11月12日から25日までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施します。女性に対する暴力は、重大な人権侵害であり、決して許されません。徹底的な対策により、根絶しなければなりません。本年の運動では、「性暴力を、なくそう」をテーマとして、性犯罪・性暴力の根絶のため、地方公共団体や関係機関との連携の下、意識啓発等の取組を一層強化するとともに、被害を受けた方が相談につながるができるよう、広報などを集中的に行います。また、全国のランドマークをシンボルカラーの紫色に点灯する「パープル・ライトアップ」を始め、各地で様々な取組が行われます。閣僚各位におかれましては、25日までの本運動の期間の2週間、女性に対する暴力の根絶のシンボルである「パープルリボン」を御着用いただくとともに、一層の御協力をお願いいたします。
- 松野国務大臣：ほかに御発言はございますか。
- 無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件

( 令 和 3 年 )  
11 月 12 日 ( 金 )

◎ 一 般 案 件

- 資 料 あり ○ 「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び  
安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに  
日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」  
第2条に基づく施設及び区域の追加提供及び新規  
提供について (決定) (防衛省)
- 資 料 なし ☆ アラブ首長国連邦駐箚特命全権大使磯俣秋男外2  
名に交付すべき信任状及び前任特命全権大使中島  
明彦外2名の解任状につき認証を仰ぐことにつ  
いて (決定) (外務省)

◎ 政 令

- 資 料 あり ○ 海上運送法施行令及び造船法施行令の一部を改正  
する政令 (決定) (国土交通・財務省)

◎ 人 事

- 資 料 あり ○ 特命全権大使牧内博幸を願に依り免ずることにつ  
いて (決定)
- 〃 ○ 各府省幹部職員の任免につき、内閣の承認を得る  
ことについて (決定)
- 〃 ○ 元検事木村榮作外258名の叙位又は叙勲等につ  
いて (決定)

[ ○ 署名あり ☆ 署名なし ]